

第23回石川県地方港湾審議会 報告及び議案書

令和5年11月22日（水）14時30分

石川県議会庁舎 1階 大会議室

石川県地方港湾審議会

目 次

1	委員名簿	1
2	審議会議案	2
	七尾港臨港地区の追加指定	3
3	報告事項	5
	金沢港将来ビジョンの検討状況について	6

1 委員名簿

石川県地方港湾審議会委員名簿 ※敬称略

区 分	職 名 ・ 氏 名
学識経験者	港湾保安対策機構 理事 山 根 隆 行
	金沢大学教授 由 比 政 年
	石川工業高等専門学校教授 道 地 慶 子
	金沢大学名誉教授 池 本 良 子
	全日本海員組合北陸支部長 熊 谷 勝 明
	石川県漁業協同組合 前常勤監事 米 澤 千 鶴 子
	白山市女性協議会会長 柳 幸 枝
	金沢商工会議所女性会会長 富 久 尾 佳 枝
	七尾商工会議所女性会会長 沢 野 千 穂 子
	七尾商工会議所青年部元会長 小 山 百 代
石川県議会議員	石川県議会議員 和 田 内 幸 三
	石川県議会議員 下 沢 佳 充
関係行政機関の職員	北陸地方整備局長 遠 藤 仁 彦
	金沢海上保安部長 福 井 明 裕
	七尾海上保安部長 飯 牟 禮 涉
	大阪税関長 大 内 聡
	北陸信越運輸局長 佐 橋 真 人

調査審議の内容に応じて 委嘱する委員 (条例第6条)	金沢市長
	七尾市長
	(株)金沢港運社長
	七尾海陸運送(株)副社長
	七尾水先区水先人会 会長

2 審 議 会 議 案

港 第 278 号
令和 5 年 11 月 13 日

石川県地方港湾審議会

石川県知事 馳 浩

第 23 回石川県地方港湾審議会諮問案件について

石川県地方港湾審議会条例第 3 条の規程により、下記案件を第 23 回石川県地方港湾審議会に諮問します。

記

議 案 七尾港臨港地区の追加指定

七尾港臨港地区の追加指定

都市計画七尾港臨港地区を次のように変更する。

(上段赤書きは変更前)

名 称	面 積	備 考
七尾港臨港地区	約 2 0 2 . 4 ha 約 2 0 4 . 2 ha	

「位置及び区域は計画図表示のとおり」

2. 理由

七尾港では、さらなる貨物の受入体制を強化するため、大田地区大水深岸壁背後のふ頭用地の埋立造成（全体面積 8.6ha）を行っているところである。このうち、造成が完了する 1.8ha について、新たに臨港地区に追加指定し、更なる七尾港の振興に取り組むこととする。

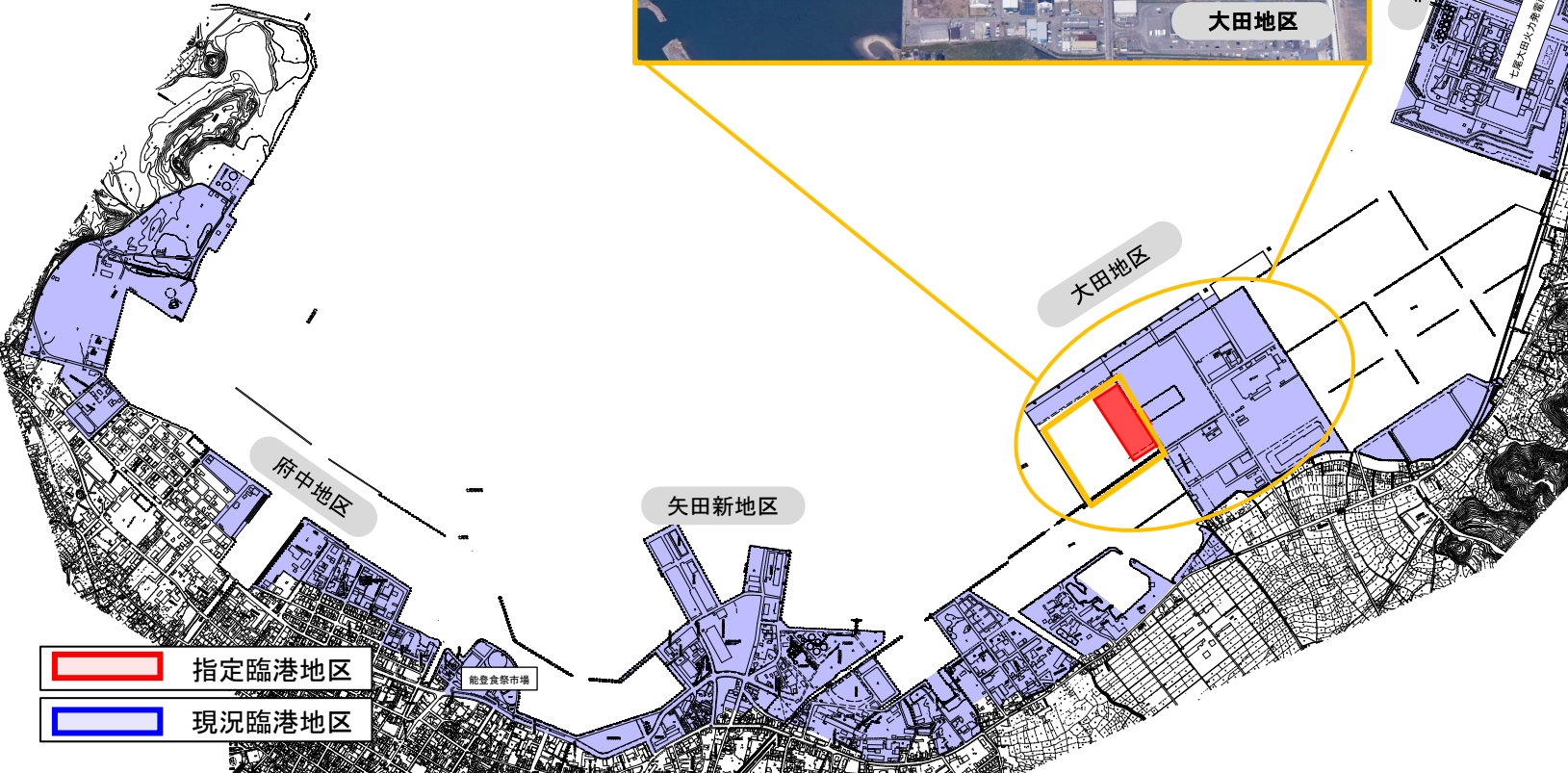
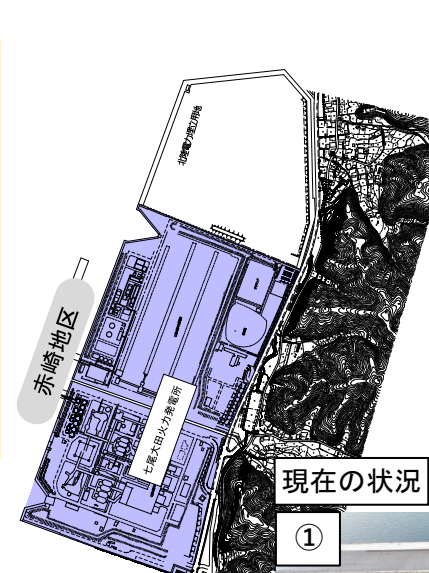
七尾港臨港地区の追加指定

【概要】

七尾港では、さらなる貨物の受入体制を強化するため、大田地区大水深岸壁背後のふ頭用地の埋立造成（全体面積8.6ha）を行っているところである。このうち、造成が完了する1.8haについて、供用開始にあたり、新たに臨港地区に追加指定し、七尾港の振興に取り組むこととする。

○臨港地区の追加指定

臨港地区（変更前）	臨港地区（変更後）
約202.4ha	約204.2ha (1.8ha追加)



3 報 告 事 項

金沢港将来ビジョンの検討状況について

金沢港将来ビジョンの検討状況について

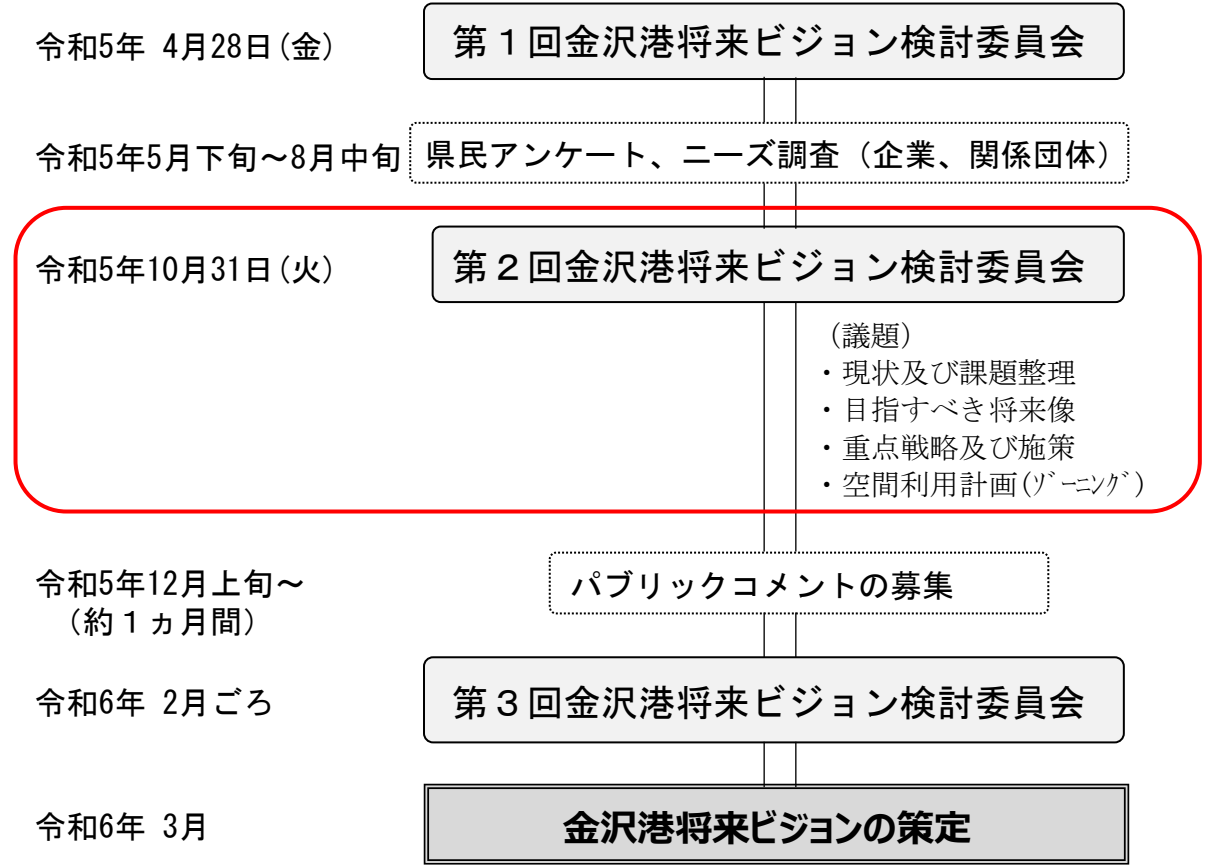
1. 背景・目的

金沢港は、平成14年策定の港湾計画に基づき、ハード整備やソフト施策に取り組むことにより、貨物・クルーズ・賑わいの拠点として大きな変貌を遂げてきた。

一方、今後のコンテナ船の大型化やカーボンニュートラルポートの形成促進など、金沢港を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、

本年4月から学識経験者や港湾利用者、地元関係者などからなる金沢港将来ビジョン検討委員会（委員長：(公社)日本港湾協会 大脇理事長）を立ち上げ、長期的視点に立った港の目指すべき姿を描く「将来ビジョン」の策定に取り組んでいる。

2. スケジュール



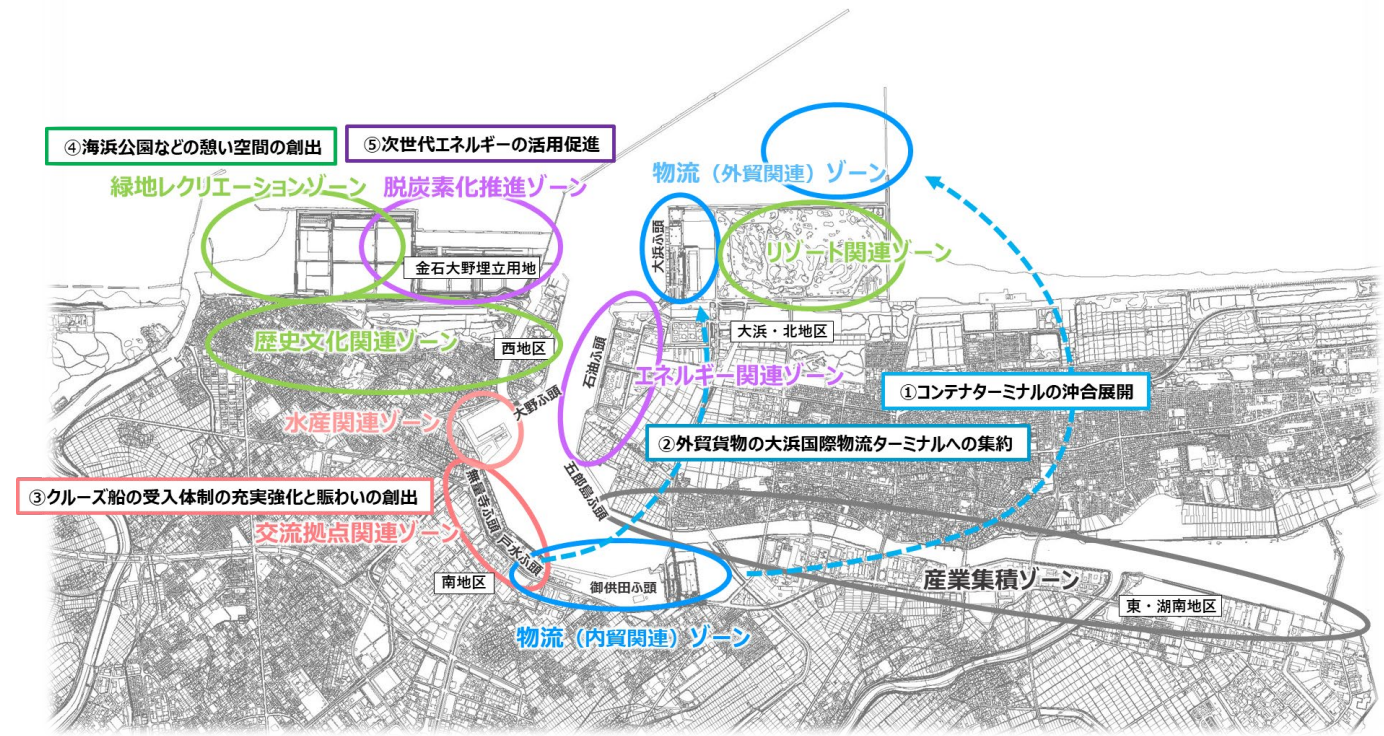
[令和6年度 港湾計画の改訂]

3. 第2回金沢港将来ビジョン検討委員会

【金沢港将来ビジョンのポイント】

主な課題	対応方針
①コンテナ船の大型化への対応	コンテナターミナルの沖合展開
②作業効率が悪く、狭いヤードへの対応	外貨貨物の大浜国際物流ターミナルへの集約
③多様化するクルーズ需要への対応	クルーズ船の受入体制の充実強化と賑わいの創出
④憩い空間に対する県民ニーズの高まり	海浜公園などの憩い空間の創出
⑤2050年カーボンニュートラルの実現	次世代エネルギーの活用促進

【空間利用計画（ゾーニング）】



4. 今後の方針

12月初旬より実施するパブリックコメントの意見も踏まえ、年度内に「将来ビジョン」を策定し、引き続き、港湾計画の改訂に取り組む。